



農二 進路通信

東京農業大学第二高等学校

進路指導部

令和5年6月12日(月)発行



中間試験終了！

中間テストの答案返却が終わりましたが、しっかり振り返りをしていますか？定期テストは「何点とれたか？」よりも「なぜ間違えたのか？」の方がはるかに重要です。特に、国社数理英のテストについては、大学入試や校外模試を意識して作られています。点数が良かった人は完答しなかった問題について再度間違わないようにしっかり分析してください。点数が思うようにとれなかった人は、基本的な問題の習得ができていないと思われます。入試や模試で落とせない問題を間違えている可能性がありますので、解説を読んでも分からない場合は、先生や友達に質問して、確実に理解できるまで十分に復習を行いましょ。更に、普段の学習についてもこれを見直しをしてください。点数がとれている人は「予習→授業→復習」の学習サイクルが確立できています。

今回の振り返りをしつつ、期末テストに向けて授業は始まっていますので、改めて学習サイクルについて意識して取り組んでみましょう。

夏は「大学」を体感しよう！—大学による高校生向けプログラムの紹介

夏休みを前にして、大学からは受験生向けの情報が多く発信されつつあります。オープンキャンパスについては5月下旬ごろから詳細が発表されているようです。オンラインで事前申し込みが必要とされることもありますので、早めにチェックしておくようにしましょう！

オープンキャンパスでは学校についての説明のほか、模擬授業が行われることも多いです。限られた時間の中でその学問の魅力を感じられる貴重な体験ですが、他方、1時間程度の体験なのでみなさんは「もっとその学問について知りたい」と思うことがあるかもしれません。

そんな方には大学が実施する、高校生向けプログラムへの参加をおすすめします。高校生のうちから大学の講義を体験してもらいたいと企画されるものです。1回ごとの独立した講義になっているものや、一定の期間参加して他校生徒と活動するようなものまで、内容はさまざまです。コロナ禍を受けて、対面型からオンライン型になっているものもあり、地方在住の高校生にとってはわざわざ遠くの大学まで足を運ばなくてもよいのは大きな魅力です。参加者にとっては、より専門的な内容に触れるチャンス、自分の学習したい学問領域や課題を見つけるチャンスとなるはずですよ。

志望している大学のWebサイトや、進路指導室の廊下の掲示を参考にして、情報を集めてみましょう。

西東京三大学連携協働高大接続教育プログラム（東京外大・農工大・電気通信大）

<http://www.tufs-tuat-uec.jp/lp/global-school/index.html>

「高校生と大学生のための金曜特別講座」のご案内（東大；希望者は進路指導部の先生まで）

https://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/poster/2023s_poster.pdf

「坊ちゃん講座」(東京理科大)

<https://www.tus.ac.jp/event/entry/pr/bocchan2023/>

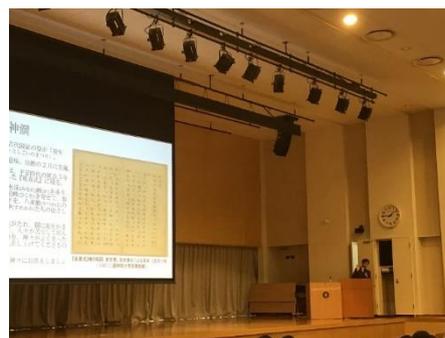


國學院大學講演会 レポート

5月20日(土)13:30より、本校武揚ホールにて國學院大學講演会を実施しました。國學院大學神道文化学部神道文化学科教授の笹生衛(さそう まもる)教授を講師にお迎えし、「お神酒の起源—古代の神祭りとお酒—」と題して講演していただきました。

私たちにとって身近な「お酒」には、古代日本に起こった技術革新が大きく関わっていること、お酒を注ぐ行為は、古代から現代に受け継がれてきた文化の一部であることなど、大変興味深いお話を聞くことができました。

人文系の学部学科で何が学べるのかを知っている生徒は大変少ないですが、今回の講演会へ参加した生徒たちは、文系の学問の一端を具体的にイメージできるようになったようでした。



国公立大学推薦入試説明会(3年生対象)実施

5月31日、高校3年生の希望者を対象に説明会が実施されました。

令和3年度からいわゆる推薦入試は「総合型選抜入試」と「学校推薦型選抜入試」の2つに分類されました。学校推薦型選抜入試とは、高校生活において学業や課外活動での顕著な成果を収め、人間的にも魅力のある人物であり、そして本校の生徒として申し分のない生活状況で高校3年間を過ごした生徒が、その志望に基づいて基本的には学校長が大学に推薦するというものです。したがって、この入試では「第一志望であり、合格したら入学する」というのが前提となります。大学により若干の違いはありますが、この点に注意が必要です。この入試では公募制と指定校制があります。

一方、総合型選抜入試とは、旧AO入試に該当します。この入試は基本的には学校推薦型選抜入試の考え方と同じですが、学校推薦ではなく自己推薦となる点が異なります。自分の良さを自分で大学に売り出していき、その大学が求める人材像と合致している受験生が合格するのが特徴です。この入試は全て公募制となります。元々、AO入試は私立大学に多い入試方式でしたが、近年では国公立大学でも総合型選抜入試(AO入試)を実施する大学が増えてきました。大学が掲げる学生像(アドミッションポリシー)に合致する人物を選抜するという方針で行われます。総合型選抜入試へと名称を変更した際に、学力を含めて総合的に評価しようとするよう再定義がされました。書類審査、小論文、面接など大学ごとに方式は様々です。 (『進路の手引き』より;一部変更)

「拡大する学校推薦型選抜と総合型選抜」(河合塾 Kei-net より)

<https://www.keinet.ne.jp/exam/basic/structure/recommend.html>

今後の進路行事など

★は「全員」対象、☆は「希望者」対象	行事予定	1年	2年	3年	保護者対象
6月16日(金)	進学相談会(Ⅱコースのみ)			★	
6月19日(月)	筑波大学 校内説明会	☆	☆	☆	
6月20日(火)	群馬県民健康科学大学 校内説明会			☆	
6月28日(水)	保護者対象大学見学会				✓
7月1日(土)	保護者対象進路研究会③				✓
7月4日(火) ~ 7月5日(水)	進研記述模試			★	
7月5日(水)	進研総合学力テスト	★	★		